

拠点間の打刻データ運用

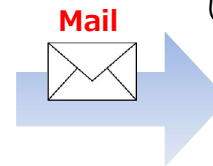
TimeP@CKの運用で離れた拠点の打刻データを収集する際にSDカードやmicroSDカードを媒体ごと送るのではなく、SDカード（microSDカード）内のデータをメールなどに添付して送る運用の方法や注意点を記載します。

Time P@CK III 100 Time P@CK III 150 WL



【ファイル送信側】（拠点）

SDカードのAMANOフォルダの中の、DATAフォルダ内にあるファイルをメール添付してお送りいただきます。メール添付する場合は、DATAフォルダを圧縮する必要があります。



【ファイル受信側】（本部）

SDカードと同じフォルダ構成を作成していただく事でデータ取込が可能となります。（例えばマイコンピュータ内のCドライブ等）



Time P@CK iC M



【ファイル送信側】（拠点）

microSDカード内のAMANOフォルダの中のDATAフォルダ内にあるファイルをメール添付してお送りいただきます。メール添付する場合は、DATAフォルダを圧縮する必要があります。



【ファイル受信側】（本部）

microSDカードと同じフォルダ構成を作成していただく事でデータ取込が可能となります。（例えばマイコンピュータ内のCドライブ等）



上記の運用をされる場合は、いくつか注意いただきたいことが御座いますので、次ページをご確認ください。

拠点間の打刻データ運用(注意点)



注意事項



- データを送る際、誤って開いてしまうとデータが壊れてしまう場合があります。
打刻データを直接送る際は、ファイルの名前を編集したりデータを展開しないようご注意ください。
※データは暗号化されているので開くことはできません。
- 可搬型メモリから打刻データをメールに添付する際にコピーはしないで、**切り取り**をしてください。
(打刻データのファイルが可搬型メモリに残ったままの場合、打刻が蓄積されてデータ取り込みの際に時間がかかってしまいます)
- 本部のパソコンで可搬型メモリのフォルダ構成を含めて正しく設定してください。
 - ①本部PCのCドライブにAMANOフォルダを作成します。
 - ②AMANOフォルダ内にDATAフォルダ・PARAフォルダを作成します。
C:¥AMANO¥DATA
C:¥AMANO¥PARA
 - ③DATAフォルダ内に拠点から送られてきた打刻データを保存します。
 - ④データ取込の際、ドライブ指定をCドライブにして受信をしてください。
(データ取り込みをした際に打刻データのファイルは消失します)